

ラジオ

スリランカではじめてラジオ放送が始まったのは、世界で最初に放送されたアメリカ合衆国の約5年後の1925年です。

スリランカの国営のラジオ局は「スリランカ放送協会（SLBC）」と呼ばれています。放送言語は、シンハラ語・タミール語・英語の3つです。

1993年からは、FM放送も3つ（99，TNL，YES）開局され、音楽をステレオ放送で楽しむことができるようになりました。今ではGOLD，SUN，LITEなどの放送局も開設されました。



ラジオ局

テレビ

* 日本でテレビ放送が始まったのは1952年で、そのときテレビは日本全国で856台しかありませんでした。

スリランカでは、1979年にITN (Independent Television Network) が放送を開始しました。コロンボとその周辺の英語を話すことができる人を対象にしたものでした。

その2年後、一般向け放送を行うために国営のルーパワーヒニ1・2が日本の援助で建てられました。放送の指導をNHKが行い、現在も年に2～3人がNHKで研修を受けています。

1990年代に入る
と民間放送局6局が
次々と開局されまし
た。MTV, MTV
ニュースビジョン,
TNL, ETV1,
ETV2, DYNA
ビジョンなどのチャ

ルーパワーヒニ



ネルです。それらの放送局は英語だけではなく、シンハラ語やタミル語での放送も始められました。放送時間はだいたい朝の6時ごろから夜の12時ごろまでですが、ETVは24時間放送しています。

国営、民営とも番組にスポンサーがつき、コマーシャルを流しています。また有料のケーブルテレビ放送や日本のNHKも見られる衛星放送など、選択肢が広がっています。



ルーパワーヒニ見学の様子